

立教開宗
850
年



第197号

令和6年
2月24日発行
春彼岸号

西光



No 仏教, No Life 人生のギアチェンジ

全くためにならない!? 仏教の宇宙観

門前掲示板 一言法話

気になる…仏教と龍の関係

お知らせ 編集後記

春彼岸法要のご案内

宗祖法然上人立教開宗850年

慶讃法要参拝の旅



浄土宗西山禅林寺派

雲龍山 西光寺

住職 大塚靈閑

〒671-0101

姫路市大塩町229番地

Tel 079-254-0351

Fax 079-254-4142



西光寺公式LINE

ID:@495ehfde

No 仏教, No Life

～ 人生のギアチェンジ ～

昨年は100歳を越えた方を4人も送らせて頂きました。厚生労働省によると日本人の平均寿命は男性が81.05歳、女性が87.09歳(令和4年度)とのこと。当寺が昨年送らせて頂いた方々の平均寿命を計算してみますと85.90歳となりました。一昨年の令和4年度は86.03歳。ただこの歳は行年(かぞえ年)ですので、満年齢では84～85歳くらいになります。世の平均寿命と同じような値になります。

100歳まで生きるには…



江戸時代の越後国のさすらいの僧侶、良寛りょうかんさんにこんな逸話があります。ある富豪が

「名誉も富も何一つ不足はないのですが、ただ一つ100歳まで生きたいと思うので、その方法を教えて頂けないか」と尋ねました。すると良寛さんは笑いながら、「そんなことは簡単です。今100歳だと思えばいいのです。」と答えたといいます。ガッテン頂けましたでしょうか…

ギアチェンジのタイミングは…

厚生労働省の調査では、幼年0～4歳、少年5～14歳、青年15～24歳、壮年25～44歳、中年45～64歳、それ以上は高年としています。

古代中国の陰陽五行では、年代を色と季節で区分して、青年期を青春せいしゆん、壮年期を朱夏しゆか、中年

期を白秋はくしゅう、高年期を玄冬げんとう(玄=黒)としています。味気ない中年や高年よりよっぽど味わい深いオツな表現です。

ではインドではどうでしょうか。古代インドで生まれた四住期しじゅうきという考え方があります。

①学生期(～25歳)。

心身の鍛錬、学び、成長の時期。

②家住期(25～50歳)。

就職、結婚、家庭をつくり、子育ての時期。

③林住期(50～75歳)。

林に住むという名の通り、俗世間を離れ、真の生き甲斐を探しながら自分らしく生きる時期といいましょうか。

④遊行期(75歳～)。

いよいよ終わりもちらちら見え隠れしてくるこの時期はもはや林にも住みません。そこから離れ、あらゆる執着を捨てて死に場所や悟りを求めてさまよい歩く時期…なんともストイックですが、当時のインドでは聖なるガンジス河のほとりで最期を迎え、自然に還っていくのは理想的な死であり、そこに悲壮感は全くありません。この遊行期は現代では終活という言葉が適当かもしれません。人生最後の締めくくりの大事な時期です。『林住期』の著者五木寛之さんは、人生のギアチェンジ、従来の生き方や考え方、価値観などを変えていきながら、人生50年を2回楽しみましようとおっしゃっています。

どうぞ皆様、「私もいよいよ後期高齢者になりました」ではなく「私もいよいよ遊行期に入りました」と格好つけながら、いつまでも新しい景色を見て参りましょう！

全くためにならない!?

仏教の宇宙観

		金輪水面からの距離	広 さ	有情の身長	有情の寿命	
空	色界	色究竟天	(由旬) 167,772,160,000	大千世界	(由旬) 16,000.0 (大劫) 16,000.0	
		善现天	83,886,080,000	大千世界	8,000.0	
		无热天	41,943,040,000	大千世界	4,000.0	
		无烦天	20,971,520,000	大千世界	2,000.0	
		无恼天	10,485,760,000	大千世界	1,000.0	
		无喜天	5,242,880,000	大千世界	500.0	
		无患天	2,621,440,000	大千世界	250.0	
		无垢天	1,310,720,000	大千世界	125.0	
	居界	三禅	遍净天	(由旬) 655,360,000	大千世界	(由旬) 64.0 (大劫) 64.0
			无量净天	327,680,000	大千世界	32.0
		二禅	极光净天	(由旬) 81,920,000	大千世界	(由旬) 8.0 (大劫) 8.0
			无量光天	40,960,000	大千世界	4.0
天	初禅	大梵天	(由旬) 10,240,000	四洲	(由旬) 1.5 (大劫) 1.0	
		梵天	5,120,000	四洲	1.0	
	六欲天	他化自在天	(由旬) 1,280,000	(由旬) 80,000 ²	(クローシャ) 1.50 (年) 16,000×1,600×30×12	
		焰摩天	640,000	80,000 ²	1.25 8,000×800×30×12	
		兜率天	320,000	80,000 ²	1.00 4,000×400×30×12	
		夜摩天	160,000	80,000 ²	0.75 2,000×200×30×12	
地居天	欲界	三十三天	(由旬) 80,000	(由旬) 80,000 ²	(クローシャ) 0.50 (年) 1,000×100×30×12	
		四大王衆天	40,000	(種々あり)	0.25 500×50×30×12	
地上	欲界	忉利天	(由旬) 0	(由旬) 2,000 ²	(肘) 32 (年) 1000	
		夜摩天	0	1,250 ²	16 500	
		兜率天	0	約2,000,000	8 250	
		化乐天	0	約2,000,000	4 ~10	
地下	地獄	傍生	(由旬) 0	不明	不明	
		餓鬼	500	不明	最大 1 中劫 500×30	
		等活地獄	(由旬) 1,000	(由旬) 不明	不明 (年) 500×30×12×(500× 50×30×12)	
		黑繩地獄	不明	不明	不明 1,000×30×12×(1,000× 100×30×12)	
		衆合地獄	不明	不明	不明 2,000×30×12×(2,000× 200×30×12)	
		号叫地獄	不明	不明	不明 4,000×30×12×(4,000× 400×30×12)	
		大叫地獄	不明	不明	不明 8,000×30×12×(8,000× 800×30×12)	
		炎熱地獄	不明	不明	不明 16,000×30×12×(16,000×1,600×30×12)	
大無間地獄	20,000	20,000 ²	不明 1/2 中劫 1 中劫			

第11図 色界と欲界に関する数表

『須弥山と極楽』(定方晟)より

上記の表、何だかお分かりでしょうか。数学の試験問題ではありません。正解は天上界と地獄の世界における、金輪際からの距離、広さ、住人の身長、寿命の一覧です。こら、誰がこんな悪ふざけを…冗談のようですが、お経にはこのような壮大な世界観が度々出てきます。そのスケール感がぶっ飛んでいておもしろいのです。

この天上界や地獄というのは、六つの迷いの世界(地獄・餓鬼・畜生・阿修羅・人間・天)の一番上と下のことで、「悪いことばっかりしてる奴は地獄行きやぞ〜」というように、生まれ変わりを繰り返す(六道輪廻)というものです。

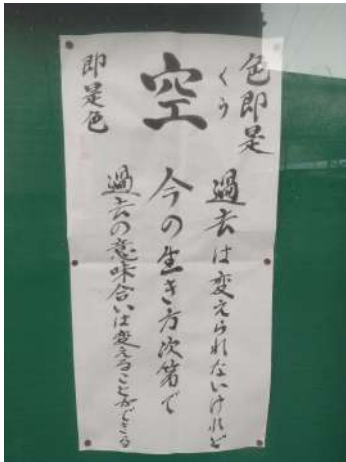
ちなみに六道の中で一番良いのは神が住む天(天上界)なのですが、それで終わりません。さらに天上界は27に分かれます。最上位はご存じ有頂天。一番下が下天。下天には四天王とその一族が住んでいるそうです。例えば、この下天の住人の身長は0.25クローシャです(笑)クローシャ?なにそれ?牛の鳴き声の届く距離だそうです(-_-)1クローシャは約2~3km。いちいちややこしい…左表にはクローシャより大きな単位で由旬とありますが、これは車を引いた牛が1日で歩く距離。牛基準の単位というのがインドらしいですね。

寿命はどうでしょう。下天の住人の寿命は500歳!しかしまたややこしいのが下天の1日は人間界の50年分に相当します。よって人間界に換算すると下天の1年は50×30日×12か月=18000年、それが500歳ですから500×18000=900万。下天の住民の寿命は900万歳!一番下でこれですからね…そもそも天上界といえども寿命はあるのですね。

織田信長が好んで舞っていた『敦盛』の有名なくだり「人間50年、下天のうちを比べれば、夢幻の如くなり」。これはまさに上記の通りで、人間界の50年なんか下天の住民である四天王にとっては夢、幻のように一瞬のことなのだということです。信長自身49歳で亡くなっていますし、武田信玄や上杉謙信も50歳前後で亡くなっているのでややこしいのですが、上記の意味は人間の寿命が50歳というわけではありません。当時の平均寿命は、幼子の病死や戦死も相当数あったと思われるので、40歳にも満たなかったようです。

悲しいかな今の世の中では「そんなことしたら罰が当たるぞ!」はもはや効き目はありません<六道輪廻の考えも抑止力の観点からは大事なことなのかもしれません。

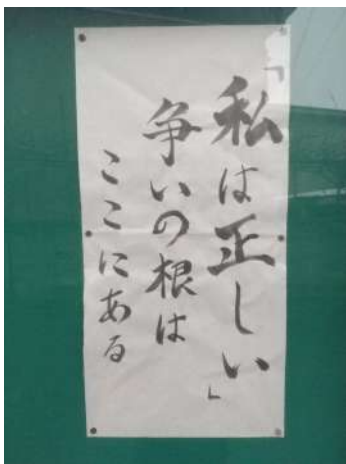
門前揭示板 一言法話



12月

仏の教えには救いがあります。失敗の上に成功があるのは知るところです。忘れてしまいたい過去や悲しい別れも、その時は辛い経験であっても、自分自身の在り方と時間の経過によりまた違った評価を得ることもできます。なぜなら全ては「空」だからです(般若心経で何度も出てくるあの「空」です)。絶対ではなく相対的だからです。モノも人も出来事もこの世のすべては「空」です。こうだと固定的に考えない、どんなものにもなりうる可能性を秘めています。過去の事実は変えようがありませんが、今の生き方次第で、過去の意味合いを変えることは十分に可能であるとブツダは教えてくれています。武田鉄矢も教えてくれています。

悲しみこらえて 微笑むよりも 涙かれるまで 泣く方がいい
人は悲しみが 多いほど 人には優しく できるのだから (『贈る言葉』)



2月

国同士の戦争から子供のケンカまで争い事のすべての原因は、「私は正しい」「私が正しい」というお互いの心の持ちようです。一度争いが始まってしまうと、意地の張り合いで、絶対自分からは折れないぞという果てしない消耗戦が待ち受けています。しかし子供同士のケンカは少し時間が経てば、けろっとしてさっきまでのケンカは何だったんだと思う程仲良く遊んだりしています。なぜ子供達にこう簡単にできることが、大人になるとできなくなるのでしょうか。相手との争いであったものが、いつか自分自身との闘いに形が変わってしまうからです。わだかまりとなって捨てる勇気がなくなってしまうのです。

先日書類の整理をしていたら、裏紙に走り書きされた先代住職のメモ書きを偶然見つけました。久しぶりに先代の語り口に出会って懐かしい気がしました。例によって少々小難しいですが、下記に記しておきます。

人はあるとき、自分の作ってきた罪しょうざいにふと気付くことがある。少罪しょうざいであったり、時には大罪たいざいであったりして、みずから毛穴のそば立つのを感じることもある。これを慚愧ざんきといい、他に対しても自分自身についても恥はにかむることにある。そしてそこに「すまない」という浅深せんじんの懺悔ざんげが湧き出してくる。すでにそのとき、人は大いなる力による救済を得ている。あたかも光りを浴びた部屋ふゆう ふんじんの、浮遊した粉塵の中に自己を見出したときのショックである。

気になる…

仏教と龍の関係

みんな大好き『ドラゴンボールZ』では、地球上に散らばっているドラゴンボールを七つ集めるとシェンロン(神龍)が現れ、願いを叶えてくれます。死んだ〇〇を生き返らせてほしいという願いが多かったような気がします。ブツだいわく「それだけは無理」なのですが…。ちなみに龍は「如意宝珠」という何でも願いを叶えてくれる珠を持っています。ドラゴンボールは如意宝珠だったのですね。

さて、今年は辰年。仏教と龍は非常に関わりの深い動物です。インドでは、蛇はどこにでもいる身近な動物のようで、その蛇が霊力を持ち、龍として神格化されたようです。龍は八部衆といって仏教の守護神の一員に数えられます。雲や雨をもたらすとされ、水に縁が深い生き物です。

水道の水が出る所を「蛇口」というのも納得です。寺社の入り口にある手水はお参りの前に心身を浄める水ですが、この水がよく龍の口から出ているのもただただカッコいいからというわけではなかったのです。

お釈迦様の誕生日(はなまつり)には甘茶をそそ灌いでお祝いします。これは龍が甘露かんろの雨を降らし、お釈迦様の誕生を祝福した伝説に由来しています。

最古の仏典の一つ『スッタニパータ』の第1章は「蛇」の章です。ここでは物事にこだわり、執着する人間の心について、蛇の脱皮にたとえながらブツは説いています。またこの章には、「雨を降らせよ」という表現がよく出てきます。今の私たちの感覚では、「雨が降る」ですし、英語でも「It rains」です。雨を降らせる主体には言及していません。しかし、古代インドの人々は自然現象の背後にはそれぞれ特別な神がいて、支配していると考えていたようです。ですので、「雨が降る」ではなく「神が雨を降らす」「雨を降らせよ」になるのですね。日本でも古来より雨乞いや逆に暴風雨を鎮める祈禱は様々な文献にもよく見られ、西光寺の古文書の中にも干ばつの為、雨乞いの祈禱への出仕要請の通達記録があります。やはり人間の手に負えないものは最終的にはそれを司る神にお願いするしかないようです。



那智の滝でみかけた手水舎の龍



誕生仏はお釈迦さまが生まれた時に右手で天、左手で地を指し「天上天下唯我独尊」とおっしゃった姿をかたどったもの



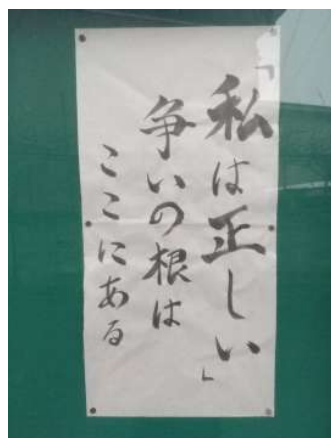
本堂内の欄間に彫られた龍。水を司る神である龍はお寺を火事から守る役割もある。



山門に掲げられた西光寺の山号「雲龍山」の額

お知らせ

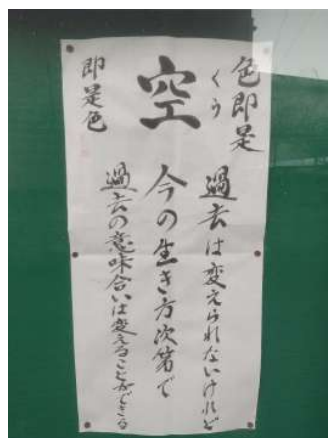
門前掲示板



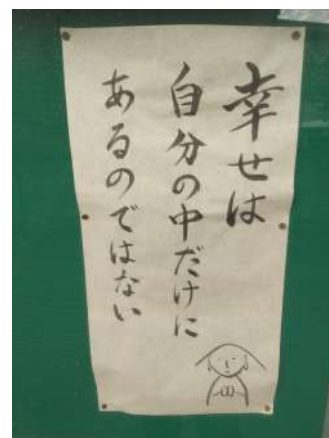
2月



1月



12月



11月

ご逝去の報

東ノ丁	大谷尚志さん	77歳	令和5年10月20日寂
大 鳥	鷲尾イソエさん	90歳	令和5年12月2日寂
東ノ丁	黒川かね子さん	103歳	令和5年12月20日寂
東ノ丁	藤井幸子さん	80歳	令和5年12月31日寂
中ノ丁	寺浦雪雄さん	96歳	令和6年1月26日寂
西ノ丁	八木猛さん	83歳	令和6年2月5日寂
中ノ丁	寺浦佳史さん	62歳	令和6年2月6日寂

今後の行事予定

はなまつり



5月8日(水)

開門～閉門まで、参道にて

お釈迦さまの誕生をお祝いします
甘茶もご用意しています

編集 後記

この度の立教開宗850年^{けいさんほうよう}慶讃法要への参拝は、法然上人25霊場めぐり以来の久しぶりの参拝旅行になります。法要の前後、時間があると思いますので、永観堂の他のお堂もご案内させていただきます。辰年ということもあってか、永観堂^{みえいどう}の御影堂の裏手にある臥龍廊^{がりゅうろう}が話題になっているようです。山の斜面を這う様に作られた回廊が、まるで龍が長い^{うんりゅうざん}胴体をくねらせているように見えるのです。ちなみに西光寺はせっかくの雲龍山の山号を持ちながら、龍の伝説はございません(涙)



三月十七日(日)

午後一時～ お勤め

午後一時半～ 塔婆回向

午後二時～ お説教

午後三時～ 塔婆回向

春彼岸会

【説教師】

京都 恵光寺住職

きしのしんが

岸野真我師

【塔婆回向について】
とうばえこう

一霊 三〇〇円

西国三十三ヶ所の御詠歌をあげながら、ご先祖の供養をいたします。ご希望の方は当日世話人席にてお申込み下さい。戒名(〇〇家先祖代々、俗名、他宗派のご先祖でも構いません)と施主名(お申込みの方のお名前)をメモしてお持ち頂くとスムーズです。当日お越しになれない場合で供養をお申込みの方は寺、住職または各丁世話人にお預け下さい。

850th

宗祖法然上人立教開宗850年

慶讃法要参拝の旅

永観堂禅林寺・比叡山延暦寺

写真: 永観堂禅林寺阿弥陀堂

本年は法然上人が浄土宗を開かれて850年の節目の年になります。総本山永観堂禅林寺では4月21日より1週間にわたり慶讃法要が執り行われます。この勝縁に皆様とご一緒にお参りさせて頂こうと参拝旅行を計画いたしました。本山法要後には、法然上人が15歳から43歳の立教開宗に至るまで過ごされた修行究学の地、比叡山へもお参りいたします。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時 **4月26日(金)** ※日帰り

参加費 10,000円

募集人数 40名程度(大型バス1台) ※先着順

申込方法 寺または住職まで直接お申込み下さい。参加費は当日までにお納め下さい。

旅程表 【集合時間】 6:50集合 (7:00発) 【集合場所】 大塩駅南の郵便局の向かい側

大塩駅南 → 《播但・山陽・新名神》 → 宝塚北SA(休憩) → 永観堂禅林寺 慶讃法要 →
07:00発 08:00~08:20 10:00~12:00
南禅寺順正(昼食・湯豆腐のコース) → 比叡山延暦寺 → 井筒八つ橋追分店(お買物) →
12:45~14:00 15:00~16:00 16:30~17:00
京都東IC → 《名神・新名神・山陽》 → 宝塚北SA(休憩) → 大塩駅南
18:00~18:20 19:00着

※上記行程は交通事情、参拝時間等により変更になる場合がございます。予めご了承下さい。